

建廃協NEWS56号



《安全体感教室を体験しました！》

8月25日(金)、(株)光洲産業、光洲エコファクトリーYOKOHAMABAYにある安全体感教室を建廃協組合員のためにお貸し頂きました。25名の参加者が4グループに分かれて体験を行いました。危険を目の前で見て、更に体感するという貴重な体験をすることが出来るプログラムです。

- ①Vベルト巻き込まれ ②ローラー巻き込まれ ③回転軸巻き込まれ ④安全扉機能
 ⑤滑り転倒 ⑥保護具 ⑦溶剤爆発 ⑧静電気溶剤燃焼 ⑨指差し呼称 ⑩感電
 ⑪通電流 ⑫トラッキング ⑬安全帯装着 ⑭サンドバッグ ⑮重機
 ⑯ロータリーバルブ ⑰ベルトコンベア

各体感エリアの講師の方から、どんな危険を体感する機器か説明を受け、それぞれの事故事例についての説明を受けました。そして、実際に機器を使用しての危険体感をしました。

貴重な体験を(株)光洲産業の皆さまありがとうございました。



《体験者より感想を頂きました！》

同業他社、大勢の方が参加され、より安全な職場環境を構築する事への関心の高さがうかがえました。

安全帯の着用方法や、指差呼称の重要性等項目は多岐にわたるものでしたが、何れも懇切丁寧な説明で分かりやすいものばかりで、危険を安全に体感できる事は初めてでした。特に、指差呼称の効果が高いことに驚きました。

社に持ち帰り、職員に周知する事が私にとっての大事な任務である、と改めて痛感致しました。事故防止あるいは安全対策、という言葉だけでなく、如何なる危険を、どの様に防ぐのか、という目的意識を持ちながら取り組めば、必ず良い結果が生まれるはず、という確信を持つ事が出来たのでとても有意義な講習でありました。

成友興業(株) 藤盛



今回、安全体感教室を体験し、さまざまな危険が起こりうる状況を見ることができた。安全について意識して作業してはいるが、こんなことで火災や爆発が発生してしまうのかと改めて学ぶことが多かった。安全帯の体験で、実際につるされる状態を体験したが、間違った位置につけていたため苦しかった。腰の低い位置につけると学んだ。過電流は家や事務所等でも起こりうる事なので、こまめに確認し埃がたまらないようにしたい。

新和環境(株) 伊藤

工場で発生してしまう可能性がある事故を体感することによって、安全に対する意識が向上した。特にユンボによって発生してしまう事故が印象強かった。自分たちは研修でユンボの近くで作業することが多いので、更に安全に作業していこうと思った。

新和環境(株) 菊池

《体験者より感想をいただきました！》



重機の不安全で雑な作業によって起こる事故や、工場内の機械によって起こる事故とその原因となるものについて、体験をしながら知ることができた。特に、安全ベルトについての講習では、自分が今までつけていた方法だと逆に命に係わる間違ったやり方だと知ることができた。今回の講習によって、安全についてもっと考えて行動していこうと思った。*新和環境(株) 古瀬*

事故をどのように防止するかを考える上では、事故がどのように発生し、なぜ発生するのかを理解する必要がある、そのためのとても良い経験となった。安全帯の正しい使用方法など、使用させる側としても知っておくべき事を学べたので、今後これらを周知させ安全意識の向上に努めていきたいと思う。*新和環境(株) 水井*

この安全体感講習会で日々の作業の中で誤った安全器具、機械の修繕、清掃の使用方で、危険度が高くなることを身に染みて理解した。

安全帯の使用方法については、簡単、単純にベルトをまくだけと思ったが、安全帯のまく位置により体におよぼす影響には、驚き恐怖を覚えた。ベルトコンベアへの巻き込みについても、手選別ラインに多く従事している障害者作業員には確実に非常停止装置を使用できるように周知させないといけないと思った。指さし呼称の実施、不実施でヒューマンエラー防止の効果を目の当たりにし、指さし呼称の必要性を再認識できた。巻き込み体感では物が巻き込まれないよう力づくで握り、単純に手を離せば済むことだったのに愚かな行動をしてしまった。

他にもたくさん体感したが、災害事故発生時には、あっ！と思った時にはもう遅いと痛感した。災害防止にあたり、当たり前のことを当たり前にしていきたいと思った。

最後に交通事故によって加害者の立場で亡くなった家族の話では、交通事故に関わらず絶対に事故を起こしてはならない、起こさせないようにしていかななくてはならないと強く思った。とても有意義な講習会となった。*(株)エコワスプラント 緑川*



安全体感教室を体験し、「安全とは何か」ということを再認識させて頂きました。当社でも安全教育を実施していますが、あそこまで徹底されたものではありません。例えば、高所作業等を行う時は安全帯の着用を義務付けていますが、安全帯の装着方法までの指導はしていません。今回、誤った安全帯の装着方法と、正しい安全帯の装着方法を体感し、その差には正直驚きました。今後は安全帯を装着させるだけではなく、その正しい使い方まで指導していこうと思います。

また、安全体感教室のみならず、社員1人1人のコミュニケーション能力の高さも大変勉強になりました。*(株)エコ・ファクトリー 有田*

《体験者より感想を頂きました！》

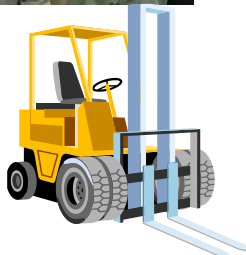
自分は普段工場のプラントに携わっております。その為、プーリーへの巻き込まれ、ローラー付着物による巻き込まれ、ロータリーバルブにより詰まり取り時の巻き込まれ等は、プラント作業内でも軽視して見ていた部分があり、少しでも巻き込まれたらもう遅いという事がとても理解できました。自分の認識した事を周りにも周知をし、事故のない作業環境を作っていくように努めて参ります。

(株)共同土木 水島



安全体感講習の参加で感じた事は危険についてある程度分かっているつもりでしたが、実際に体感して分かっていたなかつたんだと思いました。体感する事ができるほとんどが、自社にあてはめることができるもので、大変勉強になりました。例えば手選ラインのローラーに作業着を巻き込まれれば危険ということはわかっていましたが、どれ程危険かということは、実際に体感してこそ伝わるものがありました。「百聞は一見にしかず」を痛感しました。この講習は是非工場の皆にも体感してもらいたいと思いました。

(株)エコワスプラント 竹村



《お知らせ》

★10月25日に「講演の集い」を開催します。今回は「改めてアスベスト問題を考える」をテーマとしております。定員に達しますと受付終了となります。お早目にお申し込みください。

★建廃協では皆さんが受けてみたい講習、建廃協NEWSに関するご意見、ご感想を募集します。下記まで。

電話03-5159-8171

✉jimukyoku@kenpaikyo.or.jp

